

金子校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成29年8月31日(木) 19:00~20:35
場所 地域交流センター多目的ホール
司会・進行 須山連合自治会長
参加者数 男 50人 女 4人 合計 54人



1. 市の重点事業に関する質問（要約）

質問（平形自治会）

自治会館を利用した健康長寿のまちづくりに関して、何かを修繕したりする場合の補助金はあるか。

回答（市長）

PPK体操を自治会館で行う場合には器具等を購入するなど必要経費は補助できることとなっている。自治会館の改修については、相談していただければと思う。

2. 過去の地域課題（要約）

①課題名（一宮町一丁目、大雨時の家屋・敷地への浸水対策について）

照会内容

一宮町は、下水管能力及び東川への放流処理能力の不足から、大雨時は町内がいたるところで道路冠水や敷地浸水などが多発する傾向にある。

この改良のため、市において H28~H29 にかけていくつかの改良工事を行って頂き、概

ね工事が終了したと伺っている。ついては、

①改良工事の完成形について説明をお願いします。

②計画時「この工事はあくまで改良であって根本対策は久保田雨水幹線の設置です」との説明だった。その久保田雨水幹線工事の進展が不透明だと伺ったが、その状況と打開策の説明をお願いします。

回答（環境部長）

①一宮町一丁目地区（Aエリア）の浸水対策については、平成26年度から対策工事に取り組んでいる。

1番目の対策として、Aエリアの雨水は平和通りの雨水渠を経由して宮西雨水ポンプ場から東川へ排水しているが、ポンプによる排水の負担を軽減させるため、流量の一部を中央雨水ポンプ場へ排水することとし、バイパス管の整備を行い平成26年度に完成した。

2番目の対策として、当該地区の雨水の排水ルートで懸案となっていた、一宮神社前の交差点部において、変則的な水路形状を解消するために雨水渠工事を行い、平成27年度に完了している。この工事により、登り道から平和通りへの排水がスムーズに流れるものと考えている。

また3番目の対策として、一宮町二丁目地区の雨水対策として平成26年度から取り組んでいる、一宮雨水マンホールポンプ場及び雨水渠の整備については、平成28年度にマンホールポンプ場及び雨水渠の一部が完成し供用を開始し、今年度、住友化学(株)金子アパート前東詰めまで完了した。このマンホールポンプ場の整備により、Aエリアの本来の排水先である宮西雨水マンホールポンプ場の負担が軽減されるので、Aエリアの改善が図られると考えている。今後とも降雨時の状況を見守っていきたいと思う。

②久保田雨水幹線については、昨年度に東川へ放流することについて河川管理者である愛媛県東予地方局建設部と協議を行ったが、計画流量を放流すると吐口を計画している区間において、河川の断面不足が懸念されるため、現状で占用許可を得ることは困難な状況である。しかしながら、引き続き県と連携して協議を継続していく。

②課題名（防災課題1 災害情報伝達の住民カバー率100%を目指して）

照会内容

一宮自治会では災害発生時、自治会員への情報伝達100%を目指しているものの方策に苦慮している。

そのような中、H27年校区懇談会で個別受信機設置拡大の提案を行ったが、拡大は考えていないとの説明を受けている。

その後の機器技術の進歩や価格の低廉化あるいは昨年度から市に於いて検討開始したと伺っている。FMを利用した情報伝達方式などから、現時点で大災害時の住民への情報伝達100%化へ新たな見解があれば説明を頂ければと思う。

回答（市民部長）

屋外型拡声方式、いわゆるスピーカー方式による情報伝達については、地形、気象状況などにより情報伝達100%を目指すことは難しいと考えている。戸別受信機設置拡大についても、現状拡大する予定はない。

来年4月からの開局に向け、コミュニティFMの整備を進めている。このコミュニティFMについては、通常は産業や行政、地域情報などの自主製作番組を放送するが、災害時には防災情報を優先的に放送する予定となっており、防災行政無線やJアラートと連動して運用することにより、迅速で確実な情報伝達手段に努めていきたいと考えている。また、同事業では現在新居浜市ホームページや新居浜いんふお（スマートフォンアプリ）内で閲覧することのできる河川監視カメラも鮮明に見えるよう、高性能のものに更新することとなっている。さらに、スマートフォン専用アプリである「新居浜いんふお」を従来の携帯電話でも対応可能とするよう改修を予定している。

これらの情報伝達手段を組み合わせることにより、市民の皆様に提供する災害情報の伝達手段が大幅に拡充できるものと考えている。

3. 校区課題（要約）

①課題名（国領川堤防の昇降用階段・スロープへの手すり設置について）

質問（東庄内自治会）

国領川緑地のグランドゴルフ場や堤防の自転車歩行者専用道等の利用の際には、堤防に設置された階段・スロープの昇り降りが必要となるが、高齢者に配慮した手すりの設置を以前要望した。当自治会が隣接する範囲では、堤内・外に各5箇所あり、当時、順次設置してもらえることになり、3箇所に設置してもらった。その後、5年以上は経過したと思うが、残る箇所への設置が進んでいない。予算の確保が難しいものと推察するが、1箇所ずつでも設置に向けて取り組みをお願いします。

また、階段に関連した要望が2点ある。1点目は、階段③のステップ高が最上段だけ約10cm高いため、つまずいて危険であり、均等な高さに改良をお願いします。

もう1点は、自治会館の南側道路を東に行くと堤防に突き当たるが、ここにも古くから小さな階段④があり、コンクリートによる整備をお願いします。

回答（建設部長）

階段の手摺りについては、平成24年度に3箇所設置しており、その後、昨年度までは右岸側の階段への設置を行ってきた。今後は、左岸側の階段について、利用頻度や傾斜等の状態を考慮して、自治会長さんのご意見を伺いながら順次整備に努めたいと思う。

階段③については、上部の数段を改良することで危険性を改善する。なお、危険性が高いため、手摺りの設置を優先して検討する。

階段①については、コンクリートでの整備が可能であるか、河川管理者の愛媛県と今後協議したうえで、改修に努めたいと思う。

②課題名（「デマンドタクシー」利用エリアの見直し改善）

質問（城下町自治会）

城下町自治会は、城下町及び下泉町の一部により編成されている。

一方、デマンドタクシーの利用エリアは、校区で区分されている為、当自治会の例で見ると、金子校区である城下町は利用不可で、隣接する下泉町に住んでいる会員は利用可となっている。

このような校区による機械的区分は、本来、バス交通空白地域の生活手段・交通弱者の移動手段を主目的として生まれたデマンドタクシーの趣旨から逸脱していると思われる。

機械的区分としながらも、独居老人・老々世帯・障がい者などに配慮した利用規定に変更が必要であり、見直し改善を要望する。

回答（経済部長）

デマンドタクシーについては、バス交通空白地域を解消するという目的で、平成23年1月から船木、萩生、大生院、阿島、荷内地区を対象に試験運行を行い、平成25年10月からは、バス交通空白地域が集中する川東エリア、上部東エリア、上部西エリアを対象に拡大を行ってきた。利用対象地域については、デマンドタクシーがバス交通空白地域を補完する公共交通に位置づけていることから、利用エリアの設定には、一定の線引きが必要となり、これまでは、小学校区単位を基本としている。

城下町のように同じ町内で、デマンドタクシーのエリア内の泉川校区とエリア外の金子校区に分かれているのは、極めて稀なケースであるので、このようなケースに限り、例えば同一町内を一括して利用エリアとすることができないか等の新たな対応策について、検討させていただきたいと思う。

デマンドタクシーは、路線バスやタクシーを補完する、双方の中間に位置する公共交通として位置づけて共存を図ることが大前提となっており、エリア変更等については、バス交通事業者である瀬戸内運輸、タクシー事業者も参画している新居浜市地域公共交通活性化協議会での調整協議が必要となり、今年度、協議を行っていきたいと考えている。

③課題名（市・総合防災拠点施設の整備と建設工事に関して）

質問（一宮自治会）

市においては、総合防災拠点施設の整備・建設をH28年度から開始されている。

本総合防災拠点整備は、私達市民の念願でもあり、一宮町にあるこの施設の整備と建設工事については、私たち一宮自治会も協力できるところは最大限協力し順調に整備と建設が進むことを期待している。

一方、整備・建設工事期間が今後4年間という長丁場でもあり一宮自治会員の住居と極隣接している場所も多く、日々の生活上大きな混乱や支障が出ないような工事進行及び、この近辺道路が金子小学生の通学路にもなっていることから通行安全確保に最大限の努力をお願いしたいと思う。

ついては、以下の点について見解を伺いたい。

(1) 近隣住民の環境・安全確保について

- ①建設工事における騒音・振動・粉塵最小化対策
- ②大量掘削や振動などから想定される近隣家屋の被害調査と対策
- ③大型車両の出入・通行に伴う一般車両の通行確保と安全確保

(2) 小学生の通学安全確保対策について

(3) 両者協力体制づくりについて情報交換の充実について

- ①自治会員と市及び工事会社との定例情報交換会の開催タイミング
- ②日常の近隣自治会員意見把握方法と対応について

(4) 竣工後の環境整備について

4年間という長い工期期間、多量の大型車両の通行などに伴い周辺道路・上下水路にひずみや土砂堆積などの不備発生が想定される。

- ①想定している不備発生とその調査と対応について

回答（消防長）

(1) 近隣住民の環境・安全確保について

①建設工事における騒音・振動・粉塵最小化対策

・騒音が発生する作業については、作業時間を午前8時30分から午後6時までとしている。

・振動については、振動が少ない工法を採用して近隣住民の方に影響が少なくなるよう対応している。

・粉塵については、車両出入り口付近の散水をこまめに実施し、車両入退時の飛散防止を徹底している。また、粉塵が発生しやすい解体工事などには、十分な散水を実施し、飛散防止に努めている。

②大量掘削や振動から想定される近隣家屋の被害調査と対策

大量掘削や振動に伴う工事による家屋への影響については、因果関係が明確でないことから、具体的な対応策について御回答はできないが、もし、家屋への変状に気づかれた場合には、関係者の立会いの下で調査をさせていただくので、消防本部総務警防課までご連絡ください。

③大型車両の出入・通行に伴う一般車両の通行確保と安全確保

大型の工事車両は、市役所南側市道を通行させていただいているが、原則、工事車両出入口付近及び通学路交差点には、交通整理員を配置して、安全対策を講じている。

なお、大変申し訳ないが、市役所南側市道での一般車両と工事車両との離合についての

交通整理員は配置していない。

(2) 小学生の通学安全対策について

金子小学校児童の通学路については、以前は、市役所南側市道であったが、総合防災拠点施設の建設工事が長期間におよび、大型の工事車両の通行が見込まれることから、現在は、地元住民及び金子小学校のご協力により新谷産婦人科さん東側の農道を通学路として使用させていただいている。また、下校時には、その農道と市役所南側市道との交差点に交通整理員を配置し安全確保を図っている。

(3) 両者協力体制づくりについて情報交換の充実について

①自治会員と市及び工事会社との定例情報交換会の開催タイミング

近隣住民の方への第1回住民説明会を、自治会長や役員の皆様のご協力により、平成29年7月12日に開催させていただいた。今後は、建設施工業者が決定すれば、早い時期に説明会の機会を設けたいと考えている。

また、情報交換会は、近隣住民の方に工事内容等をご理解していただくうえで非常に有用であることから、定期的を開催することを考えている。

開催日程等については、自治会長をはじめ関係者の皆さんと協議しながら決めたい。

②日常の近隣自治会員意見把握方法と対応について

近隣住民への意見の把握方法については、定期的にご意見をお伺いさせていただこうと考えている。体制や頻度等などの詳細については、まだ検討中であるが、市、施工業者、工事施工監理など様々な工事関係者がお伺いさせていただき、近隣住民の皆様と情報交換ができる関係を築くことができるよう努めていきたい。

(4) 竣工後の環境整備について

総合防災拠点施設の建設期間中は、大型の工事車両の通行が増加するため、ご指摘の道路舗装、道路側溝など傷むことが十分想定されますことから、それぞれの施設管理者と状況を調査して対応を決定することになると考えている。

最終的には総合防災拠点施設と共に近隣住民の皆さんの生活の質向上を感じられるような周辺環境整備に努めたいと考えている。

4. その他

質疑応答（要約）

質問（八雲自治会）

金子小学校体育館のラインの剥離や床フロアの傷みが激しくなっている。改修する予定はないか？また、金子小学校グラウンドの水はけが悪いので改良できないか？

回答（教育員会事務局長）

金子小学校体育館については、本年度屋根部分を優先して改修した。今後、予算を確保

し、床面についても、改修できるよう検討する。

グラウンドの排水については、状況を確認し、検討させていただきたい。

質問（北庄内自治会）

人口減少が気になるとともに、独身者が多いことも心配している。結婚サポートの催しをする計画があるのか？

回答（市民部長）

昨年度までは、年に数回結婚サポートのイベントを実施してきたが、なかなか成果が表れないということで、結婚サポートの機会を増やすためウイメンズプラザ内に常設のサポートセンターを9月16日にオープンする予定である。相談に来ていただけたらと思う。

質問（北庄内自治会）

市政だよりの内容は充実していると思うが、表紙が、なぜ、ローマ字表記「N i i h a m a」になったか？

回答（企画部長）

若い職員がみなさんに見ていただきたいという思いでローマ字のデザインしたものと思う。今後、このような意見があったことを担当課に伝えておく。